

むささび

第32号

平成29年10月2日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



国際ウッドフェア2017の当組合ブースに来られた中島副知事にITC活用などについて説明

JForest 北信州森林組合 0269-38-0371
〒383-0061 長野県中野市大字壁田938-1

ホーム 組合の概要 活動について 広報 お問い合わせ アクセス

北信州森林組合チャンネル

NEWS

- 2017.07 創森館のお色直し
- 2017.07 役員のコンプライアンス研修会開催
- 2017.07 平成29年度安全大会開催
- 2017.06 国道292号線の道路環境美化～夏の花への植え替え
- 2017.06 救急救命講習実施
- 2017.06 定期健康診断実施
- 2017.05 国際ウッドフェアにて、「森林フォーラム」開催
- 2017.05 長野県森林組合連合会、信頼回復に向けた行動宣言
- 2017.03 「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業の開発」のレーザー計測による現地調査報告

組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 国際ウッドフェア2017開催されました……………2
- 経営診断実施されました……………3
- 平成29年度安全大会を開催……………4
- 今年度の労働安全指導……………5
- 役員のコンプライアンス研修会……………6
- 森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言……………6
- 地域山林紹介◎……………7
- 創森館(本所)お色直し……………8
- R292の道路環境美化……………8

日本で初めて国際ウッドフェアが長野で開催されました

北信州ICT林業開発コンソーシアムで出展

「次世代林業」実現に向けたノウハウ習得の機会を創出する専門展示会「国際ウッドフェア2017」が五月二十四日～二十六日に長野市のビッグハットで開催されました。

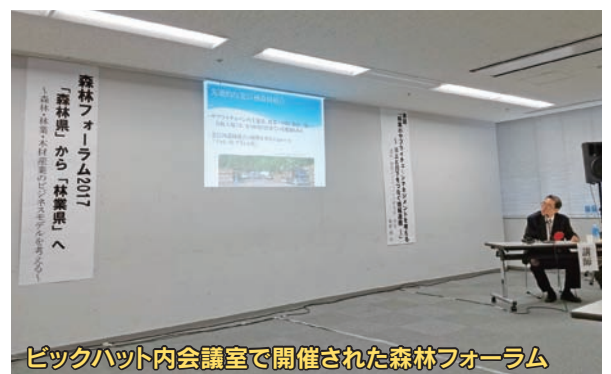
「林業先進国オーストリアの大使館商務部をはじめ、「林業県」をめざす長野県が協力して初の開催となりました。国内外からの林業機械や木質バイオマス関係の最新の製品・技術から、大学などの取り組みまで展示され、また、ICTやドローン、レーザーセンシングを活用する次世代林業などが紹介されました。

また、併催行事として、林業関係者の知識習得、スキル底上げのための、各種セミナーも開催されるなど、たいへん大きなイベントでした。

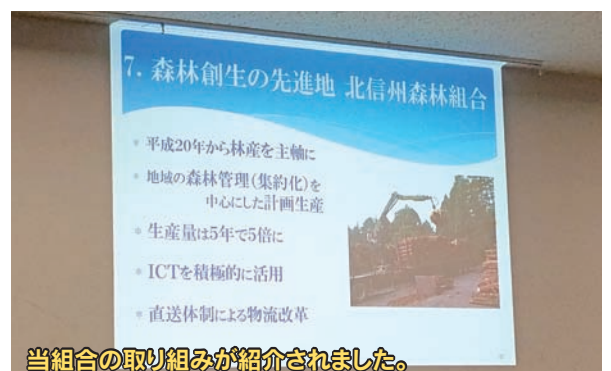
当組合では、革新的技術開発・緊急展開事業「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」を共同で行っている、信州大学とアジア航測(株)、そして協力いただいているコマツと(株)ジツタで、「北信州ICT林業開発コンソーシアム」として出展しました。ICT技術の森林管理、林業経営への活用や、航空レーザー計測データの活用、生産情報管理のスマホアプリなどの展示を行いました。たいへん多くの方にご来場いただきました。



多くの来場者があり、たいへん賑わいました。



ビッグハット内会議室で開催された森林フォーラム



当組合の取り組みが紹介されました。

森林フォーラムも開催されました。

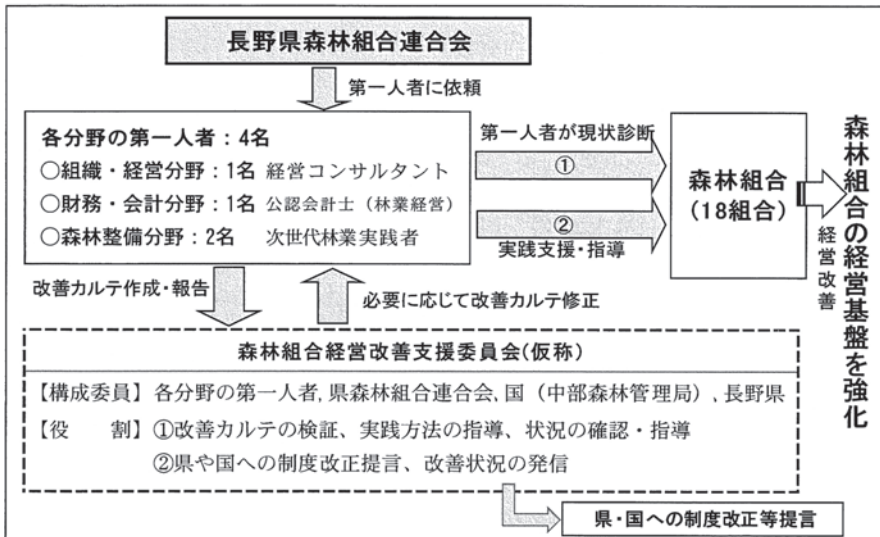
国際ウッドフェアで長野県セミナーの一環として『森林フォーラム』が開催されました。

今年の森林フォーラムは昨年十二月に当組合に取材に來られた、日本のロジスティックスの第一人者、椎野潤先生による講演が行われました。演題は「林業のサプライチェーンマネジメントを考える」川上と川下をつなぐ情報連携です。また、今年の森林フォーラムは、長野県林業研究グループ連絡協議会創立五十周年、長野県林業士会創立四十周年の記念講演として開催され、募集定員百五十人を大きく上回る、二百人以上の参加があり、たいへん盛況な講演会となりました。

この講演の中で、椎野先生から当組合の取組みについて紹介をいただきました。椎野先生の講演の詳細は、先生のブログで紹介されています。組合ホームページのNEWSの『国際ウッドフェアにて、「森林フォーラム」開催』をクリックすれば、ブログの掲載ページにつながります。

森林組合経営改善支援委員会による経営診断を実施

経営診断結果報告書(結果と課題の解決について)は来年2月頃に提示される予定です。



森林組合経営改善支援委員会は、長野県森林組合連合会が平成二十八年十二月に設置したものです。森林組合が経営上の課題を解決して自立的経営に転換し、林業の中核的な担い手としての役割を果たすことができるよう、専門的見地からの意見をいただき、経営などの第一人者による経営診断及び改善指導を実施するとされております。

当組合では、今年度の実施を要望し、六月十二日から十五日まで経営診断のための面談が行われました。面談では役員からは、組合長、副組合長、正副委員長が個別面談とグループ討議を行い、職員では係長以上の幹部職員が個別面談、総務課、業務課職員は課別のグループ討議、技能職員は班長によるグループ討議を行いました。

また、組合員にも出席をいただきました。各地区理事が推薦した組合員八名により、グループ討議を行うことができました。

ご出席いただいた組合員の方々は、お忙しい中出席いただき、たいへんありがとうございました。



組合会議室で行われた役員セミナー

『北信州森林組合役員セミナー』が開催されました。

今回の経営診断は、林業経営の専門家である、経営コンサルタントの坪野彦氏により行われました。事前提出した資料に基づき、役員および組合員との面談が行われ、そこから経営診断を行った診断報告書が、森林組合経営改善支援委員会に提出されます。今回、その前に『北信州森林組合役員セミナー』経営診断の結果を踏まえてと題して経営診断報告会が七月二十五日に本所会議室において開催されました。報告会には主催の長野県森林組合連合会と当組合役員員のほか、長野県林務部と長野県北信地域振興局から出席いただきました。

坪野氏からは、「森林組合の中でも、飛び抜けており、業務体制、事業運営体制などが優れている。境界明確化やICTの取り組みは、もっと高く評価されるべき。長野県の先進モデル的森林組合になって欲しい。今後の地域における森林管理の流れに沿った取り組みをしている。しかし、経営体として継続的な健全経営も重要。当組合の実力をもつてすれば、すべて克服できる。」との講評をいただきました。

今後、二月に開催される森林組合経営改善支援委員会の検証等を経て結果報告書が提示される予定です。

平成29年度安全大会を開催しました。

…………… 全役職員と協力事業体で労働安全に真剣に取り組みます ……………

今年度四日以上休業一件、安全意識の向上を

気の緩みが重大災害を発生させる。

平成二十九年度の安全大会を、六月三十日にアツプルシティなかので来賓、役職員、協力会社など九十八名が参加して開催しました。

昨年度は休業四日以上労働災害がゼロとなりました。しかし、休業三日以下とはいえ、不安全行動による労働災害が発生しています。こうした小さな災害も含めた労働災害を撲滅するため、全職員が労働安全意識を向上させ、多方面でのリスク低減の取り組みを行っていく必要があります。このため、労働災害ゼロを目指し、役職員、そして協力事業体の皆さんが、安全で健康に生活できるよう、労働安全衛生への共通認識を持ち、労働災害ゼロを目指すため安全大会を開催しました。

これまで、組合長以下、業務委員会による安全パトロールを行うなどし、組合として労働安全に総力を上げて取り組んでいますが、こうした取り組みを行う中で、五月に休業四日以上労働災害を発生させてしまいました。

今後、安全大会での誓いを忘れずに、労働災害撲滅に向かって、全員一丸となつて労働安全に取り組んでまいります。

今年の安全講話では、交通安全について、中野警察署の宮澤交通課長さんに講演をいただきました。

参加者全員が、真剣な面持ちで聞き入っていました。

通勤や勤務中の交通事故でも、負傷をすれば労働災害になります。交通事故を含めた全ての災害が発生しないよう、安全への取り組みの必要を改めて認識しました。



中野警察署 宮澤交通課長による講演

安全推進優秀会社に岩船陸送

…直営班からは高山班が表彰される…



表彰を受ける岩船陸送さん

安全大会では、協力事業体十三社の中から、昨年度の労働安全活動に特に優秀な会社として、長年にわたり木材運搬を担当している、(株)岩船陸送さんに表彰状と記念品が贈られました。

直営班については労働事故がなく、工器具などの定期点検を工夫して行うなどの点が優良であった、造林の高山班が表彰されました。

現場も事務方も真剣に労働安全に向き合い、全ての事故をゼロにする、安全で笑顔あふれる職場を目指すことを誓いました。

また、大会の中で技能職員として新卒採用した、太田班の渡邊君と、総務課会計係の原君の紹介がありました。

大会終了後、同会場で出席した役職員と協力事業体の皆さんと懇親会を行いました。こうして一堂に会するのは年に一回のことですので、それぞれの立場を超えて歓談し、有意義な時間となりました。



＋業務委員会による今年度の労働安全指導

今年度も引き続き業務委員会で安全パトロールを実施しています。

六～十一月の月例で六回を計画し、八月までに計三回実施し、十五ヶ所のパトロールを行いました。

組合の業務内容は、草刈りから特殊伐採、素材生産と多岐にわたります。特に近年は素材生産の事業量増加に伴い、伐採や大型林業機械を使用する作業が多くなっていることから、適切な作業方法がとられているかを確認することの重要性が増しています。

昨年まで、業務委員および正副組合長をメンバーとして行ってきましたが、今年度からは、組合業務の把握も兼ねて、総務委員の皆さんにも出席いただき、全ての理事が一度は参加する、全員体制で実施してまいります。



松くい虫防除の現場

安全パトロール

6月20日	山ノ内町夜間瀬 野沢温泉村前坂 〃 東大滝	搬出間伐 搬出間伐 国有林
7月26日	中野市長峰 山ノ内町夜間瀬 野沢温泉村虫生 飯山市常盤	松くい虫防除 搬出間伐 搬出間伐 水路草刈
8月17日	山ノ内町夜間瀬 山ノ内町戸狩 山ノ内町佐野 木島平村往郷 木島平村往郷 野沢温泉村豊郷 野沢温泉村虫生 野沢温泉村	搬出間伐 境界明確先行刈払 搬出間伐 搬出間伐 境界明確林道敷刈払 利用事業 搬出間伐 作業道開設



作業道開設現場

救急救命講習を実施

六月二日に山ノ内町のよませ活性化センターの多目的ホールをお借りして、業務課員と技能職員全員を対象にした救急救命講習を開催しました。当日は、岳南広域消防本部から講師を招いて行いました。

アナフィラキシーへの対応、外傷処置、骨折の処置、高地対応、熱中症対策と対応、落雷対策と被雷者への対応など多岐にわたる救急救命の方法について講義を受けました。

あつてはならない事ですが、有事の際に正確な知識がないと適正な処置・対応ができず、より重症化させてしまう懸念もあります。こうした事が、有事の際には役立つはずで

ります。毎年開催している事です、今年も長野県の防災ヘリがなくなくなりましたため、より真剣に講義を受けていました。



よませ活性化センターで行われた救急救命講習

役員コンプライアンス研修会を開催しました。

コンプライアンス態勢 運営要領による研修会を実施

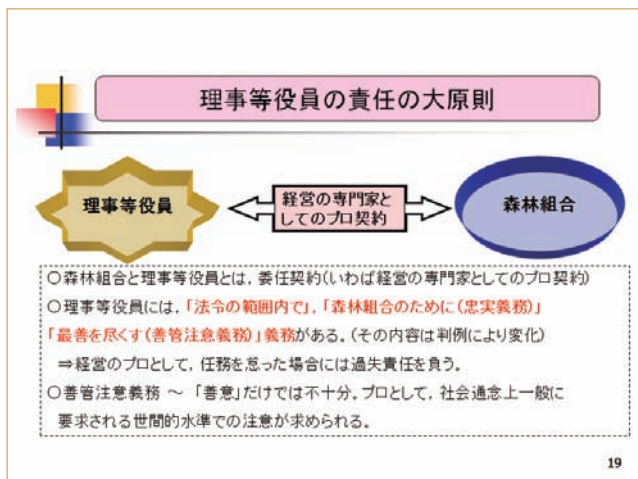
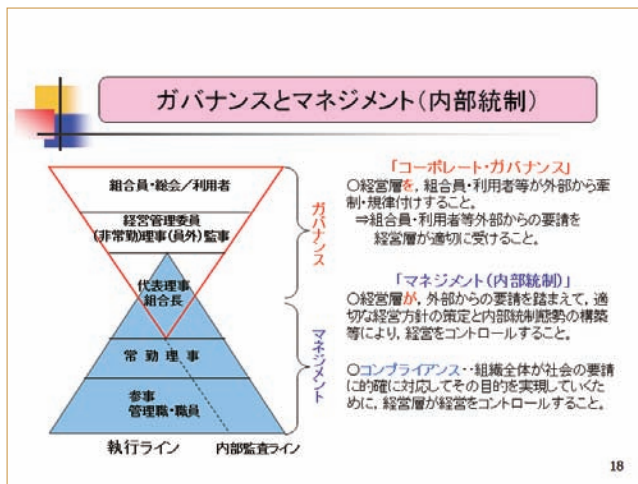
七月十四日に本所会議室において、役員
コンプライアンス研修会を開催しました。
今回の研修会は、農林中央金庫関東業務部
から、部長代理の佐藤秀幸氏、営業第5班の
高三瀧一成氏の二名を講師にお招きし、講演
いただきました。

大北森林組合による補助金不正受給などあ
り、コンプライアンスの重要性が増していることもあり、当日は全
役員が出席して、講習を受けました。

講師からは、「コンプライアンスが求められる時代背景、コンプラ
イアンスに関する具体的事例に基づいた事業説明、コンプライア
ンス態勢の構築と役員の責任」について、プロジェクトを使い1時間
にわたって講演いただきました。



組合会議室で開催した
コンプライアンス研修会



森林組合システムの信頼回復に向けた 行動について宣言 長野県森林組合連合会・長野県森林組合長会

四月二十八日に県庁特別会議室におい
て、長野県森林組合連合会の藤原会長と
長野県森林組合長会の林会長が、信頼回
復に向けた行動宣言を行いました。

これは、大北森林組合が補助金適正化
法違反で有罪判決を受けたこと踏まえ、
県内の森林組合システムが一丸となって、社
会的使命に立ち返り、組合員や県民の皆
様の信頼を回復するため行動宣言を行っ
たものです。

長野県森林組合連合会では、行動宣言
に係る公正な会計処理及び事業執行状況
の確認、指導及び公表について、実施計
画を作成し今年度から実施していくとし
ています。

県内森林組合システムの信頼回復に向けた行動宣言

平成29年3月28日に構成組織である大北森林組合が補助金適正化法違反で
有罪判決を受けた。
このことは長野県森林組合システムとしても誠に遺憾であると共に、二度とこの
ようなことを起こしてはならないことを自らに銘じなければならない。
森林組合は、森林所有者の協同組織であると同時に、国土の保全等に不可欠
な森林整備事業を担う公益的な性格を持つ団体で、そうした森林組合システム
の中で造林補助金の不適正受給を発生させ、森林組合員や県民の信頼を大きく
損なった事実を私たちは重く受け止めるものである。
ついでに、県内の森林組合システムが一丸となって、森林組合の社会的な使命に
立ち返り、組合員や県民の皆様信頼を回復するため、次の行動を行うことを
宣言する。

- 1 森林組合での事業実施に当たっては、森林組合法や補助金適正化法等の
関係法令の遵守とともに、関係行政機関並びに全国森林組合連合会の指導等
に基づき公正な会計処理を更に徹底する。
- 2 特に公的な資金を交付されている森林整備事業については、事業の執行
状況を組合員や県民の皆様にご理解いただくため、その内容を公表する取組
を進める。

なお、この宣言を実効性のあるものとするための緊急的な取り組みとして、
各森林組合における事業の実施経過や経理等について、公認会計士等の専門家
による客観的・専門的な観点からの厳正な指導助言を行います。
また、具体的な実施方法等については、長野県森林組合連合会が設置した
森林組合経営改善支援委員会において、有識者の皆様のご意見も参考に、早急
に検討を進めます。

平成29年4月28日
長野県森林組合連合会
代表理事会長 藤原 忠彦
長野県森林組合長会
会長 林 和弘

地域山林の紹介⑨
旧飯山国際スキー場周辺（飯山市）

飯山の中心市街地のすぐ西側に位置する旧飯山国際スキー場。

スキー場の営業は平成十三年に終了しており、以後、平成十六年には長野県の植樹祭が行われ、ゲレンデ跡地の森林化が進められました。



平成16年 植樹祭の様子

また、環境省で絶滅危惧種に指定されているオオルリシジミが自生しており、保護団体の「北信濃の里山を保全活用する会」により放蝶や食草であるクララの植栽等の保護活動も行われています。



飯山国際団地 立会素図

今年5月には山林所有者の方々にご協力いただき、スキー場周辺の山林を「飯山国際団地」と工リア設定し、境界明確化事業を実施しました。

飯山国際団地は周辺地区の区有林や飯山財産管理委員会等の多くの共有林があり、特に愛宕町と神明町の所有林はスキー場の周辺やゲレンデ跡地の多くを占めています。また個人の所有林も数多く存在し、零細な箇所もあります。

境界立会では、飯山財産管理委員会や愛宕町、神明町、奈良沢などの役員様をはじめ、多数の方にご参加いただき無事に作業を完了させることが出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。



境界立会にて

創森館(本所)お色直ししました。

七月に入って三週にわたり土日を利用して、創森館(本所)の外壁木部の塗装を行いました。

この建物も平成二十二年十二月に竣工して六年半が過ぎました。もともと、冬期間の風雪がたいへん強いことから、外壁の多くをガルバリウム鋼板で覆っておりますが、森林組合の建物であり、デザイン上から木部もあります。それらが風雪や日照により塗装が劣化し、カビも発生するなどし、修繕が迫られていました。今回、カビを薬剤により洗浄し、塗料を以前より若干濃い色にして、再塗装を行いました。たいへん綺麗な仕上がりとなりました。

この建物は地域材展示施設という位置付けで、国県の補助金を使って建設した建物です。住宅建築への地域材活用のためのモデルでもあり、適正な維持を行っているものです。皆さんも住宅建築で地域材利用をお考えの際は、ぜひ見学に訪れてください。

着手前



完了



国道の道路環境美化

道路敷の花の植え替え

長野県とアダプトシステムの協定を締結して、国道の道路環境美化に協力しています。

今年も夏の花への植え替えを、六月十四日に行いました。当組合では、平成二十四年に協定締結し毎年行っています。

アダプトシステムでは、建設事務所から花苗と肥料などを提供いただき、当組合が協定個所での植え替え、草取り、水くれなどのボランティア活動を行うものです。

今後、十月下旬に春の花への植え替えを行う予定です。道路を通る皆さんが、花を楽しめるように管理を行っています。



今年もニチニチソウがキレイに咲きました。

本所

〒383-0061 中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255 飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

北信地区の植樹祭は、今年は山ノ内町での開催ですが、毎年、市川海老蔵さんによる植樹祭ABMORIを開催している関係で、10月14日に森林祭として志賀高原で開催することとなりました。

森林祭の内容等は次号で詳しく紹介いたします。